

サステナビリティマネジメント

ホシザキでは、社会・環境対応を含むホシザキグループのサステナビリティ活動に対するガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標を議論し、成果と進捗の確認および対策をおこなう会議体として、2022年6月にサステナビリティ委員会を設置しています。サステナビリティ委員会では、長期的にありたい姿の実現に向けて、ホシザキの掲げるマテリアリティ(重要課題)の解決に向けた取り組みを強化・推進しています。

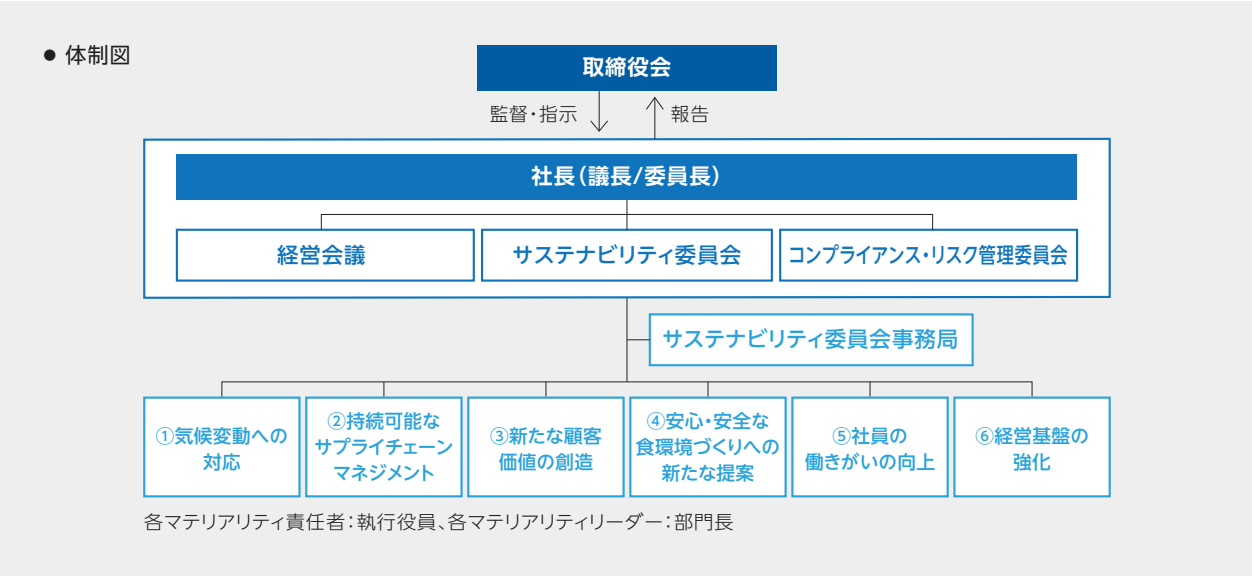
▶ ホシザキグループサステナビリティ基本方針はウェブサイトをご覧ください。
https://www.hoshizaki.co.jp/esg/sustainability/management.html

ガバナンス

代表取締役社長を委員長、管理部門の担当常務執行役員を副委員長とするサステナビリティ委員会を2022年6月に設置しています。サステナビリティ委員会は四半期に1度をめどに開催され、その審議結果を含めて取締役会に定期的に(原則四半期に1度)進捗報告をおこなうこととしています。サステナビリティに関する事業リスクはコンプライアンス・リスク管

理委員会と共有しており、適宜必要に応じて取締役会に上申することとしています。

サステナビリティ委員会の傘下には、マテリアリティの解決推進を目的として、マテリアリティごとにワーキンググループ(WG)を設置しました。各WGの責任者は原則として執行役員が就くものとし、取り組み内容や活動進捗は適宜サステナビリティ委員会に報告されます。



● サステナビリティ委員会の主な審議内容

第1回	2022年11月	● サステナビリティ基本方針の策定 ● サステナビリティ活動の方向性 ● マテリアリティへの取り組み
第2回	2023年3月	● マテリアリティKPIの設定 ● サステナビリティ情報開示に向けての課題 ● 気候変動シナリオ分析(戦略アップデート)
第3回	2023年6月	● 今後のサステナビリティ推進体制、マテリアリティWGの設置およびWG責任者(執行役員)の任命 ● 統合報告書2023の開示内容
第4回	2023年9月	● サステナビリティ情報の開示拡充 ● マテリアリティWGの活動報告 ・ホシザキ(株)への太陽光発電設備設置 ・女性役職者育成状況など ● 統合報告書2023の総括
第5回	2024年1月	● マテリアリティWGの活動報告 ・取引先様調査の実施 ・CO ₂ 排出量(スコープ1&2)削減目標など ● 欧州CSRD対応進捗報告 ● 有価証券報告書のサステナビリティ情報開示
第6回	2024年3月	● マテリアリティWGの活動報告 ・気候変動シナリオ分析(1.5℃シナリオへのアップデートなど) ・CO ₂ 排出量(スコープ1&2)のグローバル削減目標決定 ・保守点検先顧客満足度調査実施 ● 海外グループ会社のサステナビリティ活動状況 ● 欧州CSRD対応進捗報告 ● 統合報告書2024の開示内容

サステナビリティ戦略

ホシザキグループはさまざまな社会課題を議論・検討し、6つのマテリアリティを特定しています。各マテリアリティに対しては目標、KPIを設定し、課題解決に向けた施策を実行することで経営ビジョンおよび長期的にありたい姿の実現を目指します。 ▶ 詳細はp.25

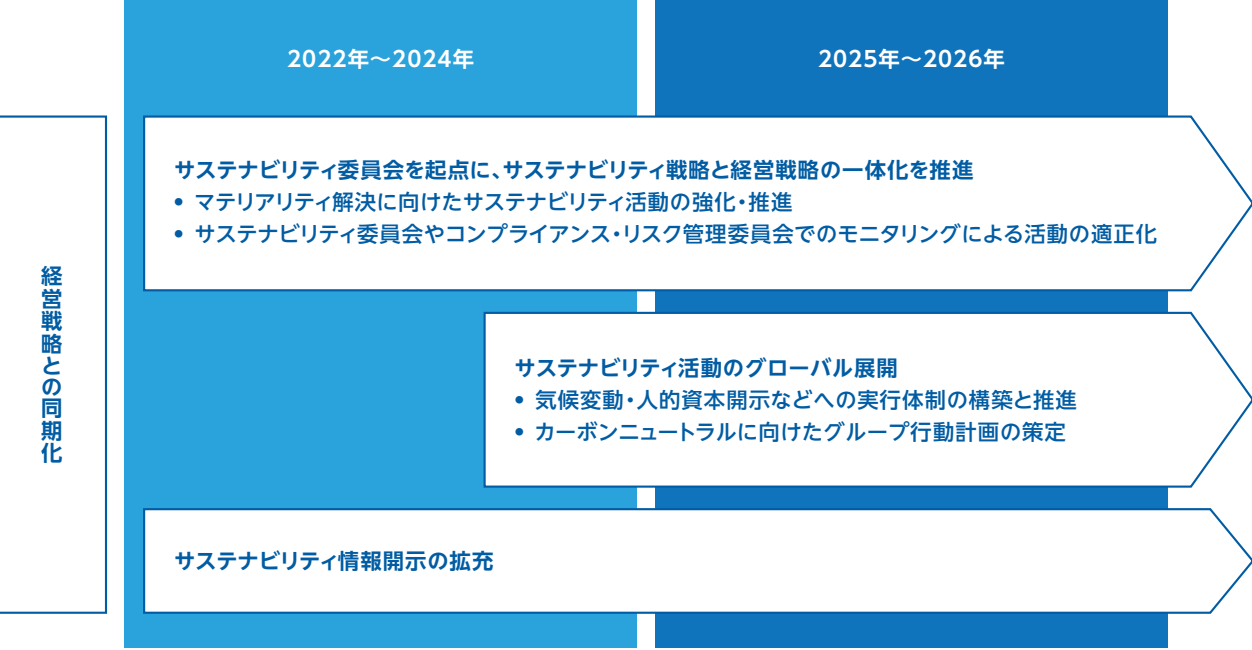
気候変動を中心とした環境への取り組みに関しては、グループ全体でのCO₂排出量の削減、廃棄物の発生抑制、環境に配慮した省エネ製品の開発を通じて環境負荷低減に向けた環境マネジメントを推進しています。 ▶ 詳細はp.53

社会への取り組みとしては、社員の働きがいの向上の実現に向けて、女性の活躍推進を図りつつ、人的資本の充実を図っています。持続可能なサプライチェーンの構築に向けては、取引先様との密なコミュニケーションを図りながら、環境保全、人権への対応や安全な労働条件などの調査により、サプライチェーンマネジメントの強化に取り組んでいます。 ▶ 詳細はp.59、p.61

お客様に対しては、国内では、他社に先行した環境に優しい自然冷媒※(p.06参照)冷蔵庫・冷凍庫の販売を本格化させ、飲食外市場の積極的な開拓を通じて新たな顧客価値の創造を目指しています。同時に、全国を網羅する営業所を活かして安心・安全な環境づくりへの新たな提案をおこなっています。 ▶ 詳細はp.58

経営基盤の強化に関しては、コンプライアンス・リスク管理委員会や指名・報酬委員会、サステナビリティ委員会の各活動などにより、ガバナンス推進体制を強化しています。 ▶ 詳細はp.76

● 今後のサステナビリティ活動の展開



特定された6つのマテリアリティの解決と経営ビジョン達成に向けた取り組みを連動させるために、原則として執行役員を責任者とするマテリアリティWGが目標・指標を設定し活動を推進しています。 ▶ 詳細はp.27

リスク管理

各マテリアリティに対応したリスクと機会を考慮し、設定したKPIの適時モニタリングおよび関連部署と自社の強みと弱みを加味した対策を講じ、リスクの最小化と機会の最大化を目指します。なお、事業活動に関するリスク管理に関しては、毎月開催されるコンプライアンス・リスク管理委員会の場で、リスク管理の徹底と迅速な対応を図っています。

指標と目標

サステナビリティ活動の推進に向けた目標と指標に関しては、6つのマテリアリティの解決に向けた目標と目標値を設定することで、活動の進捗を評価し実効性を高めています。 ▶ 詳細はp.25

今後のサステナビリティ活動の展開

経営ビジョンの最終年である2026年に向けて、以下の活動を中心に経営戦略との同期化を推進します。

- 高まるサステナビリティ情報開示要請への対応
- 海外グループ会社との連携強化と活動展開
- 6つのマテリアリティと経営戦略との同期化